

紙切れ一枚で人の人生をこの世に挡扉に刻

これからも、もっと頑張りたい。でも、みんなの前であいさつをするのは大のながて、まあしようがねえだろうなあー。

第十四回臨時大会においてスト権を確立したことを聞いて、ここまで来た以上やるしかない。臨大の前に、千葉市の弁天町会館で配転者激励会が開かれ、ストライキをやるうという話がた時に、もう決意していたんだ。紙ペラ一枚で、人の人生をこわしちゃうような当局に怒っている。新会社になったとたんに、それまでやってきた運転士から駅へと配転された。いつまでやってくれとか、必ず運転士に戻すとか、何の相談もなのままに。スト当日、館山駅当局は大わらわだつた。駅長は団体列車へ添乗する予定で、下見までして来たけれど、結局とりやめになってスト対策におわれていた。

館山支部 梶江氏



館山駅スト当該者に聞く

日刊
動労千葉

1988.6.26
No. 2844

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国労の仲間もストに賛同!



館山駅が拠点に指定されて、大変に光栄だった。でも、本当は一番はじめにストライキをやりたいかった。このことが少し残念だ。この六・二一ストライキは、安房地区労の仲間も大量動員で支援してくれた。そしてなによりも同じ駅に働く国労の仲間が「たまたかう仲間として六・二一ストを支持する」ともろ手をあげて賛同してくれたことは、大変に心強い。これからも、本務から外された仲間、清算事業団の仲間、解雇された仲間の原職奪還をかちとるまで何回でもたたかいていく。

勝浦支部 尾田氏

地区労の仲間、100名が支援に...!



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!